



祝・飛龍不二法門 2013 (ミクスト・メディア)

Melody of the Firmament

Journal of Koji Kinutani Tenku Art Museum

天空の調べ (絹谷幸二 天空美術館 機関誌)

2022.05

vol.5

文化勲章受章によせて

絹谷幸二 天空美術館 名誉館長 絹谷幸二



2021年11月10日文化勲章受賞後
「KINUTANI- 芸術家の系譜」 展会場にて
長男・絹谷幸太氏の作品の前で

この度は図らずも文化勲章受章の栄誉にあずかり、心から感動いたしております。
この勲章は日頃から皆様の励ましと、ご指導ご鞭撻のおかげと深く感謝いたしております。
受章の折、皇居に参内し天皇陛下より直接勲章をいただきました際には、天皇陛下の澄み渡ったお目を拝し、今後益々絵の道に心底より精進し励まなければならないと心に言い聞かせた次第です。
絵の道は遥かに遠く厳しくも楽しい道ですが、この旅はまだ途中です。迷わず一途に進んで参りたいと思っています。
どうか今後ともよろしくご指導のほど、お願い申し上げます。



文化勲章受章・開館5周年記念展のオープニングセレモニーにてスピーチを行う絹谷名誉館長



特別展オープニングセレモニーで大勢の取材陣に囲まれて
堀内容介館長と記念撮影を行う様子

第1回 絹谷幸二 天空美術館 キッズ絵画コンクール開催

この度、絹谷幸二 天空美術館では、全国の子どもたちに創造の喜び、楽しみを体感してもらう当館の柱と位置付ける試みとして「第1回 絹谷幸二 天空美術館 キッズ絵画コンクール」を開催いたしました。作品テーマ「あなたの大切な人たち、自然、まち並み」で全国より作品募集を行い、合計 3,009 点のご応募をいただきました。

一人一人から届くメッセージを大切に、3日間に亘る厳正なる作品審査会（審査員長 絹谷幸二）を経て、ついに2022年4月7日（木）には絹谷幸二 キッズ賞 グランプリ、部門優秀賞、館長賞、佳作賞、入選を選出されました。

■ 絹谷幸二キッズ賞 グランプリ

舛井 勝秋さん（小学校4年生、山口県）

作品名「自然にやさしい風力発電」

■ 絹谷幸二キッズ賞 小学校低学年の部 優秀賞

池田 蒼征さん（小学校1年生、広島県）

作品名「おとうとと本をよんでいるお母さん」

■ 絹谷幸二キッズ賞 小学校高学年の部 優秀賞

大倉 千寛さん（小学校5年生、静岡県）

作品名「お母さんと鳥と笑顔」

■ 絹谷幸二キッズ賞 中学校の部 優秀賞

遠藤 瑞己さん（中学校3年生、東京都）

作品名「帰り道」

■ 絹谷幸二キッズ賞 館長賞

伊藤 ひかりさん（小学校6年生、愛知県）

作品名「大切な物」

その他、絹谷幸二キッズ賞 佳作賞として22点、絹谷幸二キッズ賞 入選13点が選出されました。

受賞・入選された皆さま、誠におめでとうございます。

上記40点の受賞作品につきましては、4月29日（金・祝）～6月27日（月）までの間、絹谷幸二 天空美術館にて展示しております。ぜひこの機会に、子どもたちの情熱あふれる元気いっぱいの作品をぜひご覧ください。



4月29日（金・祝）に開催された表彰式での集合写真 中央左が絹谷幸二名誉館長、右が堀内容介館長

審査講評

審査委員長 絹谷 幸二（2021年度文化勲章受賞、日本藝術院会員）

第1回絹谷幸二 天空美術館キッズ絵画コンクールにご応募いただきありがとうございます。国内・海外から3,009点のたくさんの力作が届き、審査員一同、喜びとともに皆さんの情熱あふれる心が鏡のように映り込んだ作品に圧倒され感動の連続でした。審査は私どもが審査されているのだという気持ちで臨みました。

栄えある第1回絹谷幸二キッズ賞グランプリに輝いた舛井 勝秋（ますいかつあき 小学校高学年 山口県）さんの作品「自然にやさしい風力発電」は、蒼天の空にスクッと伸び上がる風力発電の景観を描いた明快な作品でした。自然に優しく力強く、人々の生活を支えるという、地球・人類を思う作者の熱い気持ちが見事に表されたもので、グランプリにふさわしい力作でした。

小学校低学年部門優秀賞の池田 蒼征（いけだ そうせい 広島県）さんの「おとうとと本をよんでいるお母さん」は、お母さんに寄り添って本を読んでもらっている弟さんの姿を描いた何気ない日常の一コマで、愛情たっぷりの優しい視線が伝わる心温まる作品でした。

小学校高学年部門優秀賞の大倉 千寛（おおくら ちひろ 静岡県）さんの「お母さんと鳥と笑顔」は、母とともに美しい花や動物たちに囲まれて、満面の笑みを浮かべる自画像で、あらためて日常生活の平和と安心・安全の大切さを教えてくれる作品でした。

中学校部門優秀賞の遠藤 瑞己（えんどう みずき 東京都）さんの「帰り道」は、車の後部座席から見た夕暮れの街中と、運転中のお父さんを描いた斬新なテーマで、信頼感に満ちた幸せな時間がモノクローム調で表現され、原色の多い応募作品の中で際立った訴求力を印象付けました。

この他、佳作賞や入選の作品にも甲乙つけがたい力作が多く、子どもたちの大いなる未来に、その可能性に心から拍手を送りたいと思います。皆さん本当におめでとう。

最後になりましたが、今回惜しくも選に漏れた中にも、キラリと光る作品がたくさんありましたことをご報告し、審査講評にかえさせていただきます。



初代 絹谷幸二キッズ賞グランプリに輝いた舛井勝秋さんとの記念写真

受賞作品とコメント紹介



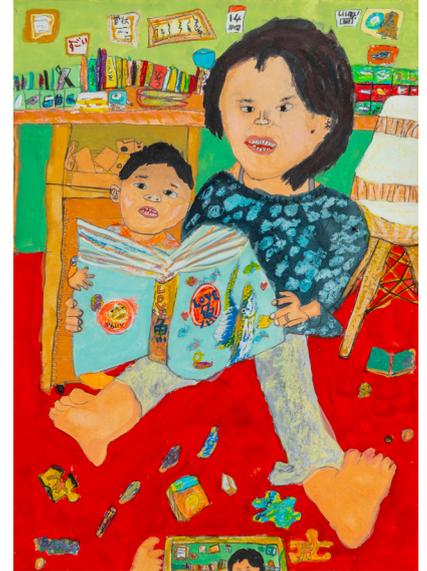
絹谷幸二キッズ賞 グランプリ 「自然にやさしい風力発電」
舛井 勝秋さん（山口県 小学校4年生）

おじいちゃんの家遊びに行く時に、遠くに見えていたたくさんの風車。気になっていたのですが、お母さんと見に行くことにしました。実際近くで見ると、思った以上に大きくてはくりよぐがあり、びっくりしました。もっとたくさんの人にも知ってもらいたくてかきました。

絹谷幸二キッズ賞 優秀賞
（小学校低学年の部）

「おとうとと本をよんでいるお母さん」
池田 蒼征さん（広島県 小学校1年生）

今回、ぼくはじめてお母さんの絵をかきました。弟とお気に入りの魚の図鑑を読んでもらい、それを見ながらぼくが描きました。絵の下の方に、いま描いている絵と自分の手を入れたのは、以前図書館でだまし絵の本を借りて読んだからです。ぼくの大好きなものに囲まれた部屋を、楽しく描くことができました。



絹谷幸二キッズ賞 優秀賞
（小学校高学年の部）

「お母さんと鳥と笑顔」

大倉 千寛さん（静岡県 小学校5年生）

花の一つ一つの違いを色々な花を見ながら丁寧に描いたり人の表情、鳥達の羽の毛先までどのようにしたら温かみを表現できるか考えたり、何回も色を重ねながら描くことが大変でした。いろんな色を混ぜて自分なりの色を作るのが楽しかったです。細かいところを塗るのに手が震えて緊張しました。大好きな母や鳥達、花がどれも皆楽しそうに見えるように描くことを考えて頑張って描きました。



絹谷幸二キッズ賞 優秀賞
（中学校の部）

「帰り道」

遠藤 瑞己さん（東京都 中学校3年生）

僕はこの作品を作るにあたって「大切さ」を意識して作りました。僕の作品を見る人がどうやったらこの大切さを感じとれるかを考えたところ、絵の技術よりも場面の良さの方が大事だと気づいたので旅行帰りの眠い夜をイメージして書きました。この絵は僕の大切な色鉛筆で書いたので、きっと見た人は何らかの大切さに気づけると思います。



絹谷幸二キッズ賞 館長賞
「大切な物」

伊藤 ひかりさん
（愛知県 小学校6年生）

人は、太陽、大気、水、大地によって創造された多様な生き物たちとともに生きています。こんな幸せな世界で、いろいろな国の子どもが仲良くなれるといいなと思い描きました。

審査報告

審査員 南城 守（絹谷幸二天空美術館 顧問／キュレーター）

応募点数が3000点を超える中から選抜された40点が並ぶ「第1回絹谷幸二天空美術館キッズ絵画コンクール」は、次世代を担う子どもたちの無限の可能性を体感できる圧巻の夢舞台となりました。

入賞・入選されました皆さまに心からお祝いを申し上げます。

審査は大変な厳選となりました。部門別に、小学校低学年は応募点数1226点の内入選13点。小学校高学年は応募点数788点の内入選14点。中学校部門は応募点数995点の内入選13点。全応募点数3009点から選ばれたのはわずか40点という超難関。審査会は3日間に亘り、一人一人から届くメッセージを大切に、延べ十数回、何度も繰り返し検討されました。

上位入賞作品はもちろんのこと、佳作賞や入選作も今回選定されたすべての作品が、豊饒なるイメージと色彩が満ち溢れ、創造の歓びと楽しみを伝えてくれる素晴らしい傑作ばかりで、困難な時代を乗り越えて明日への夢と希望を抱かせてくれるものでした。

ご応募いただきました皆様、これからも多くのものに興味・関心・好奇心を抱いて、様々な画題に挑戦され、百人百様の個性の輝きを存分に発揮されますように、審査員一同心から願っております。

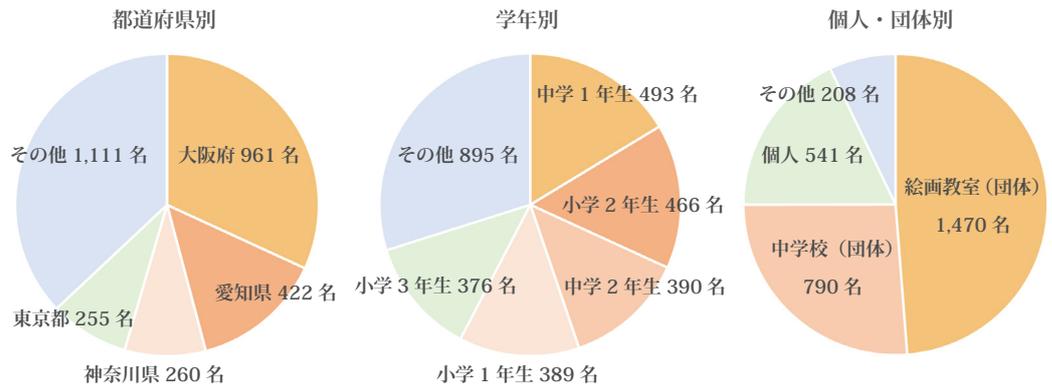
審査結果

受付応募点数 3,009 点	(内訳) 小学校低学年の部 1,226 点 / 小学校高学年の部 788 点 中学校の部 995 点
第1次審査 (2022年4月1日) 1次審査通過点数 1,495 点	(内訳) 小学校低学年の部 591 点 / 小学校高学年の部 409 点 中学校の部 495 点
第2次審査 (2022年4月4日) 2次審査通過点数 937 点	(内訳) 小学校低学年の部 386 点 / 小学校高学年の部 265 点 中学校の部 286 点
第3次審査 (2022年4月7日) 3次審査通過点数 330 点	(内訳) 小学校低学年の部 112 点 / 小学校高学年の部 111 点 中学校の部 107 点
第4次審査 (2022年4月7日) 4次審査通過点数 40 点	(内訳) 小学校低学年の部 13 点 / 小学校高学年の部 14 点 中学校の部 13 点
受賞者	グランプリ 1 名
絹谷幸二キッズ賞	小学校低学年の部 優秀賞 1 名 小学校高学年の部 優秀賞 1 名 中学校の部 優秀賞 1 名 館長賞 1 名 佳作賞 22 名 入選 13 名

[審査委員長] 絹谷 幸二 [審査員] 南城 守 [特別審査員] 堀内 容介 (館長)、坂本 博孝、高橋 暁生、萬田 理彩

応募概況

本絵画コンクールの作品募集は2022年3月31日をもって終了し、全国から多くの作品が寄せられ、応募総数は3,009点となった。まず、都道府県別で概況を見てみると、大阪府が961点と最多であった。その後、愛知県422点、神奈川県260点、東京都255点、さらに京都府122点、兵庫県120点と続いた。特に大都市圏からの応募が目立った。



次に、学年別で応募数を見てみると、中学校1年生からの応募が最も多く493点、その後、小学校2年生466点、中学校2年生390点、小学校1年生389点、小学校3年生376点と続いた。こちらは、中学生と小学校低学年からの応募が顕著であった。

最後に、個人・団体別での応募数を見てみると、団体応募の総数は2,473点で応募総数の約82%を占める結果であった。また、その団体応募の内訳は、絵画教室・画塾からの応募が最も多く1,470点、次に中学校からの団体応募が790点と続き、小学校からの応募は192点に留まった。

コンクールを終えて

この度、初めての試みとしてキッズ絵画コンクールを開催したが、当初は非常に不安が多かった。募集要項作成からはじまり、応募作品の受付や審査会、表彰式の段取りなど、はじめてのことばかりで全てが試行錯誤であった。そして何より、想定通りに応募いただけるのかどうか最も不安な点であった。

しかし、蓋を開けてみると予想を大きく上回る3千点を超える応募があり、大変嬉しかったことを覚えている。審査会までに受付作業を完了させるため、締切日以降は全スタッフでの根を詰めた作業の日々が続いたが、子どもたちの応募作品を見るたびに励まされたように思う。未来へのイメージを力強く描いた作品、好きなものを真っすぐに表現した作品、楽しかった思い出を美しい色調で描いた作品など、何か忘れかけていた大切なものを思い出させてくれるような、そして暗いニュースが続く現在において、本当に見る人を勇気づけてくれる作品ばかりであったと思う。

今回、子どもたちからいただいた夢と希望に満ち溢れたエネルギーを糧に、また次年度の開催に向けて準備をしていきたいと思う。

(絹谷幸二 天空美術館 キュレーター/エドキューター 高橋 暁生)

2022年5月23日発行 Melody of the Firmament / 天空の調べ vol.5

編集・発行 絹谷幸二 天空美術館

大阪市北区大淀中 1-1-30 梅田スカイビル タワーウエスト 27階